

**政策 05 環境と調和したまちづくり**

**施策 01 資源循環型社会の形成**

**あるべき姿**

施策がめざす尾張旭市の姿  
市民・事業者・行政の協働により、資源循環型社会が形成されています。

**施策の成果状況と評価**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	ごみ総排出量 ( t )	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
		【環境課】	24,805	25,571	24,802	23,500
評価	(状況) 前年度に比べ、実績値が769t減少した。 (原因) 事業系ごみは、1.5%の増加となったが、家庭系処分ごみは4%、資源ごみが5%減少したことが大きく影響した。具体的に、資源ごみは、かん、びん、古紙(市回収)、プラスチック製容器包装、スプレー缶類、古着類の回収量が減少した。資源ごみ回収団体の団体数も年々減少しており、回収量も8%減少となった。	(t)				対前年度
						☀ (向上)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 発生抑制の推進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	市民一人一日あたりのごみ総量 (g)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
	【環境課】	820	840	815	777	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度に比べ、実績値が25g減少した。 (原因) 事業系ごみは、1.5%の増加となったが、家庭系処分ごみは4%、資源ごみが5%減少したことが大きく影響した。具体的に、資源ごみは、かん、びん、古紙(市回収)、プラスチック製容器包装、スプレー缶類、古着類の回収量が減少した。資源ごみ回収団体の団体数も年々減少しており、回収量も8%減少となった。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						(---)

## 基本事業01 発生抑制の推進

指標	発生抑制(リデュース)に取り組んでいる市民の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
	【環境課】	93.2	93.6	-	94	(比較不可)
評価	R4はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対前年度
						(比較不可)
						目標達成度
						(---)

## 基本事業02 資源化の推進

指標	資源化率 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
	【環境課】	27.5	24.6	24.3	32	☔️ (低下)
評価	(状況) 前年度に比べ、実績値が0.3ポイント減少した。 (原因) これは、資源ごみ回収団体による資源ごみの回収量が大幅に減ったことが要因である。なお、紙パック、ペットボトル、小型家電は前年度よりも回収量が増加しており、市民の分別意識は高まっている。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度
						(---)

## 基本事業02 資源化の推進

指標	燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
	【環境課】	23.6	24.0	25.4	23.1	☔️ (低下)
評価	(状況) R2年度の前回調査時(24.0%)に比べ、実績値が1.4ポイント増加した。 (原因) 飲食店のテイクアウト商品が増えたことなどにより、包装に使用しているプラスチック製容器包装等の混入が増えるなど、資源物が全体的に増加している。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度
						(---)

**基本事業03 再使用の推進**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	リサイクル広場におけるリユース件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	568	160	231	400	☂ (低下)
評価	(状況)前年度の実績値に比べ、現状値が71件増加した。 (原因)リユース事業の周知が進み、利用者が増加した。運用方法を変更し、ベビーカーの抽選による引渡しをやめ、随時引渡せるものとしたことも大きく影響している。					対 前年度
						☀ (向上)
						目標 達成度
						(---)

**基本事業03 再使用の推進**

指標	再使用している市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	40.2	40.0	-	42	☂ (比較不可)
評価	R4はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度
						☂ (比較不可)
						目標 達成度
						(---)

**基本事業04 ごみ収集処理体制の整備**

指標	ごみ残置シール貼付数（枚）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境事業センター】	2,895	2,081	4,672	2,800	☂ (低下)
評価	(状況)令和3年度と比較して、2591件の大幅増となっている。 (原因)中間処理施設からの依頼で、プラスチック製容器包装の中にペットボトルが入っていた場合、持ち込みができなくなり、残置シールを貼るようになったことが、大きく影響している。(プラ年間R3年度56枚 R4年度3057枚。3001枚の増)周知に努めているが、翌年度以降も、この状態は続くものと思われる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目標 達成度
						(---)

**基本事業04 ごみ収集処理体制の整備**

指標	ごみ収集に関する不具合・事故件数（件数）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境事業センター】	10	1	1	9	☀ (向上)
評価	(状況)前年度と増減なしで、基準値を満たしている。 (原因)交通事故がなかった。故障により収集に影響が出る事故が1件のみであった。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目標 達成度
						🏠 (達成)